

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、都市環境デザイン工学科	
倫理 (Ethics)	担当教員	中村 隆文 (Nakamura, Takafumi)	
	教員室	一般科棟3階 (TEL: 42-9043)	
	E-Mail	nakamura@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分)] × 30回		
〔本科目の目標〕 青年期の特質と課題を理解すると同時に、先達の思想について、その基本事項を理解する。それによって、自己を客観的にとらえ、自己の生き方を模索するための自覚的態度を養うことが本科目の目標である。			
〔本科目の位置付け〕 1年次の「歴史」を基礎としつつ、スタンダードな倫理思想史を学び、下記の授業項目にそって個々の問題を考察・検討していく。3年次の「政治・経済」、4年次の「倫理学」「哲学」に関連する基礎知識として位置づける。			
〔学習上の留意点〕 単になる暗記に終わることなく、自分自身で問題を考え抜く態度を身につけること。教科書や適宜配布するプリントを参考に毎回復習し、80分以上の自学自習を行うこと。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 青年期の意義	4	<input type="checkbox"/> モラリアムなど、青年期特有の諸問題を理解できる。	教科書 pp.6-11 を把握。
2. 青年期の課題と生き方	4	<input type="checkbox"/> アイデンティティや自己実現の重要性を理解できる。	教科書 pp.12-20 を把握。
3. 哲学と人間 ——前期中間試験——	6	<input type="checkbox"/> ギリシア・ヘレニズム・ローマの特質を理解できる。 項目1～3について達成度を確認する。	教科書 pp.22-45 を把握。
4. 宗教と人間	4	<input type="checkbox"/> ユダヤ・キリスト教、イスラム教、などを理解する。	教科書 pp.46-65 を把握。
5. 芸術と人間	2	<input type="checkbox"/> 芸術と人間性との関わりについて理解する。	教科書 pp.66-68 を把握。
6. 日本人の精神風土	2	<input type="checkbox"/> 日本古来の自然観・世界観を理解する。	教科書 pp.70-76 を把握。
7. 外来思想と日本の伝統思想	2	<input type="checkbox"/> 仏教受容とその後の本独自の文化形成を理解する。	教科書 pp.77-98 を把握。
8. 西洋思想と日本人の近代化	2	<input type="checkbox"/> 明治以降の近代日本について理解を深める。	教科書 pp.99-112 を把握。
9. 国際社会に生きる日本人の自覚 ——前期期末試験—— 答案返却・解説	2	<input type="checkbox"/> 第二次世界大戦以降の現代日本について理解を深める。 項目4～9までの達成度を確認する。 試験において間違った部分を理解できる。	教科書 pp.113-118 を把握。
10. わたしたちの「いま」	4	<input type="checkbox"/> 現代合理主義・人間中心主義の功罪を理解する。	教科書 pp.120-122 を把握。
11. 人間の尊厳	4	<input type="checkbox"/> 西洋近代における倫理思想について理解を深める。	教科書 pp.123-142 を把握。
12. 民主社会の倫理	2	<input type="checkbox"/> 市民社会の成立に関わる社会思想の理解を深める。	教科書 pp.143-152 を把握。
13. 新たな人間象の模索	2	<input type="checkbox"/> 近代以降、「主体性」の変貌を理解する。	教科書 pp.153-162 を把握。
14. 自然や科学技術と人間のかかわり ——後期中間試験——	2	<input type="checkbox"/> 近代から現代までの各種科学観について理解する。 項目10～14までの達成度を確認する。	教科書 pp.163-169 を把握。
15. 民主主義の成熟のために	2	<input type="checkbox"/> フェミニズムやロールズの正義論について理解する。	教科書 pp.170-174 を把握。
16. 生命倫理	2	<input type="checkbox"/> インフォームドコンセントや QOL などの理解を深める。	教科書 pp.176-180 を把握。
17. 環境と環境倫理	2	<input type="checkbox"/> 環境倫理におけるさまざまな問題の背景を理解する。	教科書 pp.181-185 を把握。
18. 変容する家族	2	<input type="checkbox"/> 家族・コミュニティ、人生観の変化を理解する。	教科書 pp.186-189 を把握。
19. 情報社会の中の人間	2	<input type="checkbox"/> 情報化社会における各種問題について理解する。	教科書 pp.190-194 を把握。
20. グローバル化する社会	2	<input type="checkbox"/> グローバル化のもとで生じる課題について理解する。	教科書 pp.195-198 を把握。
21. 豊かな社会とは何か ——後期期末試験—— 答案返却・解説	2	<input type="checkbox"/> 人類の「豊かさ」について理解を深める。 項目15～21までの達成度を確認する。 試験において間違った部分を理解できる。	教科書 pp.199-202 を把握。
〔教科書〕 『倫理』（平木幸二郎 ほか7名、東京書籍、2008）			
〔参考書・補助教材〕 必要な資料文献は適宜プリントして配布する。			
〔成績評価の基準〕 中間および期末試験成績（100%）－授業態度（20%）			
〔本科（準学士課程）の学習教育目標との関連〕 1-a, 4-a			
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕			
〔JABEEとの関連〕			

Memo